

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゆ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



2024年前工程ファブ装置投資額回復予測

地域別では台湾がファブ装置の投資をリード 分野別ではファウンドリーが引き続きリード

HPCや自動車分野で 半導体需要増加

SEMI(米国カリフォルニア州)は、このほど最新のWorld Fab Forecastレポートを発行。2022年に過去最高額980億ドルを達成した前工程ファブ装置の世界投資額が、2023年は760億ドル(22%減)に減少した後、2024年に920億ドル(前年比21%増)まで回復する予測を発表した。

レポートによれば、2023年の減少は半導体需要の減衰とコンシューマ機器およびモバイル機器用のデバイスの在庫増に起因する。

また、2024年のファブ装置投資の回復をけん引するのは、主に2023年の半導体デバイスの在庫調整の終了とハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)および自動車分野での半導体需要の増進が見込まれる。

SEMI会長兼CEO アジット・マノチャ氏 2024年に21%増予測

SEMIプレジデント会長兼CEOのAjit Manocha氏(アジット・マノチャ)によれば、「最新のSEMI World Fab Forecastレポートは2024年を初めてカバーしたもので、世界でファブ生産能力が着実に拡大し、自動車や各種コンピュータ、また新興アプリケーションがけん引する半導体産業の今後の成長を支えていることを明らかにしています。本レポートは来年の設備投資額が順調に21%増となることを示しています」と述べている。

2024年ファブ装置 地域別投資額では 台湾のリード予測

2024年のファブ装置地域別投資額

では、台湾が前年比4.2%増の249億ドルで世界首位を維持する見込み。続いて韓国が210億ドル(前年比41.5%増)と急増し、次いで中国が入る見込みだが、米国の輸出規制により、2023年と同程度の160億ドルに留まることが予想される。

また米州の2024年投資額は、前年比23.9%増の110億ドルを維持する見込み。

さらに欧州/中東の2024年投資額は、82億ドル(36%増)で過去最高の投資額となる見込み。

このほか日本と東南アジアの2024年投資額は、それぞれ70億ドル、30億ドルの増加を予想している。

2024年分野別では ファウンドリー

一方、2022年から2024年までをカバーするSEMI World Fab Forecastレ

ポートによると、世界の半導体生産能力は2022年の7.2%増加に続き、本年も4.8%増加が予測されるほか、2024年も5.6%上昇を予測している。

世界で半導体生産能力の増加を支えるファウンドリー(※1)分野のファブ装置投資額は、2023年が前年比12.1%減の434億ドル。2024年が12.4%増の488億ドルで世界をリードするものと予想される。

メモリ分野が2位となるが、2023年の投資額は171億ドルと前年比44.4%減になる見込み。

2024年の投資額は282億ドルに上昇すると予想されている。

(※1)ファウンドリーとはITの分野では半導体製造工場および半導体の受託製造に特化した専門企業のことを指す。

さらに、その他のアナログおよびパワーは他の分野とは異なり、自動車市場の安定した成長を背景に2023年の投資額は1.3%増の97億ドルと予測され、着実な拡大を示す。

同分野の2024年の投資額も同水準となると予測される。

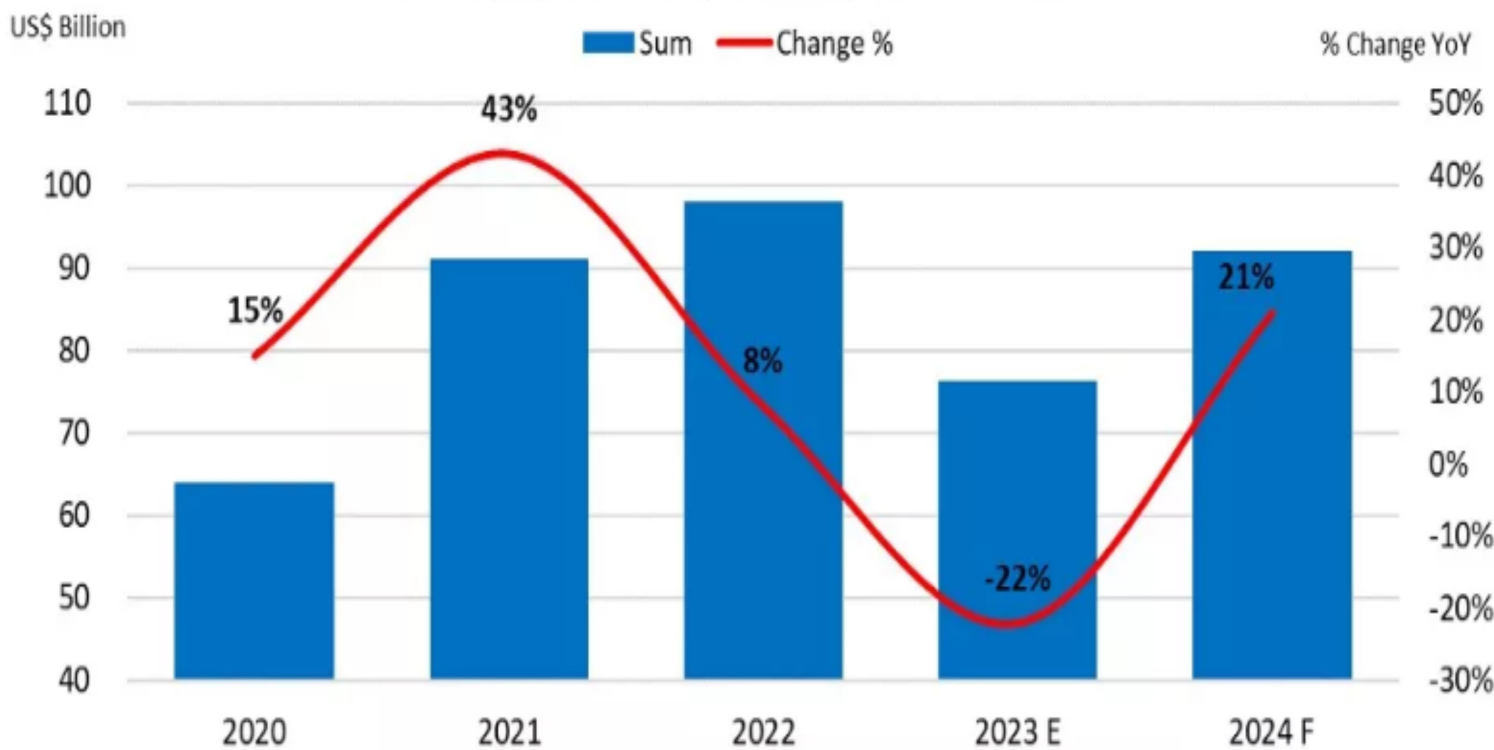
3月に発行されたSEMI World Fab Forecastレポートの最新版では、世界の1,470のファブを収録。これには2023年以降に生産を開始する量産ファブが、実現性の低いものも入れると142件含まれている。

レポート、統計の詳細及び入手に関する問い合わせは下記まで問い合わせを。

■統計に関するお問い合わせ
◇SEMIジャパン マーケティング部
◇Email : jmarketing@semi.org
◇Tel : 03-3222-5854

(※資料提供：SEMIジャパン)

Fab Equipment Spending (Front End)



Source: World Fab Forecast Report, 1Q23 Update, Published By SEMI